

岡崎市社会資本整備総合交付金評価委員会議事録

1 日時

令和4年1月25日（火） 10:00～

2 場所

岡崎市役所 西庁舎5階 502号室
（オンライン会議にて開催）

3 評価委員

出席者

委員長：名城大学教授	鈴木 温 氏
委員：名古屋大学准教授	井料 美帆 氏
委員：名古屋大学准教授	中井 健太郎 氏

4 事務局

総合政策部企画課係長	鈴木 昌幸
総合政策部企画課主事	増澤 趣里
教育委員会社会教育課係長	岡山 幸男
都市政策部まちづくりデザイン課係長	井尻 智久
都市政策部まちづくりデザイン課	酒井 迅
都市政策部まちづくりデザイン課	神尾 実沙

5 傍聴人

なし

6 委員会次第

(1) 開会

委員長選任

(2) 議事

・「岡崎市における歴史的風致の維持向上とまちづくりの推進」事後評価

(3) 閉会

7 配布資料

- ・事業説明資料
- ・事後評価書

8 会議要旨

- (1) 本委員会は、「岡崎市附属機関等の会議の公開に関する要領」第2条に基づき、公開となることの説明
- (2) 委員長の選出、鈴木委員を委員長に選出
- (3) 議事（事務局説明、質疑応答）

9 議事内容

鈴木委員長	「岡崎市における歴史的風致の維持向上とまちづくりの推進」の事後評価について、事務局から説明をお願いします。
事務局	（「岡崎市における歴史的風致の維持向上とまちづくりの推進」の、計画の指標、実績、指標達成状況、評価について説明。）
鈴木委員長	事務局の説明事項でご意見等ありましたら、ご発言をお願いします。
井料委員	<p>コロナ禍で観光に関する事業は非常に難しいと思います。事業の整備が成されていたとしても人が出歩かない時なので指標が達成されていないことはある程度仕方ないと思います。</p> <p>1つ目の指標について、歴史的資源に関する市民満足度が直接的でなく、ややずれているように感じます。</p> <p>当初設定した事業費が大幅に削減された中で、特に無電柱化事業について次期計画との繋がりの説明をお願いします。</p>
事務局	当初の計画では2地区の無電柱化整備を行う想定でしたが、今回の計画期間では詳細設計を完了するまでに留まっています。通常、無電柱化事業が完了するまでに7年の期間を要すると示されており、次期計画においては現在詳細設計が完了している1地区の整備を行うこととしています。
井料委員	分かりました。次期計画においては今回の計画の半分程度の事業費だが、次期計画の指標は達成できる想定でしょうか。
事務局	本事業による市内の総便益が約4億8300万円と推定されたことから、次期計画の事業費を設定しました。
中井委員	コロナの影響は特に指標2については致し方ないと思います。電線類を地中に埋めることや歴史的建造物などを整備することなどの景観を良くすることは魅力的に思います。

	岡崎市の魅力を外に発信すること、岡崎市民が魅力を感じる こと、整備を進めることは三位一体と考えます。
事務局	SNSの活用や、県外の方へのアンケートなどご指摘いただいた 内容を取り入れていきたいと考えています。
鈴木委員長	色々な事業を行っているが、市民アンケートの結果には繋が っていない。情報発信は取り組んでいただきたい。 まち歩きのイベントなどは行っているのか。
事務局	景観整備機構という建築の専門家やガイドができる方の集ま る団体があるが、その点においても周知が足りていないと感じ る。市広報などを利用して参加していただける方を増やしてい きたい。

10 結果

この事後評価案が妥当であることを判断する旨、委員一致で採決された。